

プレスリリース

報道関係者各位

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、シニア・ローンに投資する アクティブ型海外 ETF を日本市場に投入

～債券ポートフォリオの更なる分散化機会を提供～

【2013年10月31日、東京】米国ステート・ストリート・コーポレーション(NYSE:「STT」)の資産運用部門であり、世界的ETFブランド「SPDR」を展開するステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(本社:東京、代表取締役社長:山本幸次)は本日、SPDR ブラックストーン/GSO シニア・ローン ETF(上場:NYSE Arca、証券コード:「SRLN」、以下「当ETF」)を新たに日本で販売される外国籍投資信託として金融庁へ届出したことを発表しました。今後、日本においても取扱い証券会社を通じて購入できるようになります。

当ETFはステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(以下「SSgA」と世界最大級のオルタナティブ運用会社、ブラックストーン・グループ L.P.(NYSE:「BX」)のグローバル・クレジット部門であるGSO キャピタルパートナーズ L.P.が共同開発した、業界初のシニア・ローンへのエクスポージャーを提供するアクティブ運用型バンクローンETFで、Markit iBoxx 米ドル建てリキッド・レバレッジド・ローン指数およびS&P/LSTA 米国レバレッジド・ローン100指数を上回る運用成績の達成を目指します。

透明性や流動性といったETFに共通する利便性の他、当ETFはブラックストーンの経験豊かなチームの綿密なデューデリジェンスと投資判断に基づく包括的な運用プロセスにより、元本の保全を図りつつより高いリスク調整済みリターンを獲得を目標とする運用戦略を投資家の皆様へご提供します。当ETFの投資対象であるシニア・ローンは通常投資適格以下に格付けされておりますが、当資産クラスに特有の非効率性に対しアクティブ運用のアプローチを採用し、指数組み入れが予想されるローンの割安での取得や、指数から除外される可能性が高いローンの先だつての売却といった投資判断を行うことにより、超過収益の獲得が期待できます。また、シニア・ローンの利率は変動金利であり、通常3カ月もしくは3カ月以内で利率がリセットされるため、伝統的な確定利付債ポートフォリオを補完する有力な投資対象となり得ます。当ETFの総経費率は0.9%です。

ブラックストーン・グループのマネージング・ディレクター、リー・シャイアマン氏は当ETFにつき次の通り述べています。「SSgAはETF市場のパイオニアであり、SSgAとともに業界初のシニア・ローンを投資対象とするアクティブ型ETFを立ち上げたことを嬉しく思います。両社の強みを活かし、このETFを立ち上げることにより、当社のシニア・ローンという資産クラスの運用能力を透明性の高い商品ですべての投資家に提供することが実現しました。」

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の代表取締役社長、山本幸次は今回の届出に関し次の通り述べています。「今回のSPDR ブラックストーン/GSO シニア・ローンETFの届出により、金利上昇局面でのプロテクションを提供しつつ、好利回りを追求できる非常にユニークな運用商品を日本の投資家の皆様にご提供できることを大変嬉しく思います。当社では、今後も日本の投資家の皆様に資産運用に役立つ革新的な運用商品を提供してまいります。」

SSgAは世界中で約3,640億米ドル^{*}以上のSPDR ETFを運用しており世界最大手のETFプロバイダーの一つです。

* 2013年9月30日現在。運用資産には、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの関連会社であるステート・ストリート・グローバル・マーケットツ・エル・エル・シーが販売代理店を務めるSPDR ゴールド・トラスト(2013年9月30日現在で約390億米ドル)の資産が含まれています。

Blackstone について

Blackstone は世界有数の投資・アドバイザー企業で、ファンドの投資家や、投資先企業、フィナンシャル・アドバイスを提供する企業、ひいては広くグローバル経済に対し、プラスの経済効果を与え長期的価値を創造することを目指しています。また、この目標を、卓越した人材と柔軟性のある資本の投入によって実現します。当社の資産運用ビジネスには、プライベートエクイティ、不動産、ヘッジファンド・ソリューション、投資不適格クレジット、セカンダリーファンド、および他のファンドの投資対象に該当しないさまざまな資産クラスを対象とした投資ビークルがあります。Blackstone は、財務戦略アドバイザーやリストラ・再編アドバイザー、ファンド・プレースメントなど、さまざまなフィナンシャル・アドバイザーを提供しています。詳しくは、<http://japan.blackstone.com>にてご確認ください。Twitter のアカウント名は @Blackstone です。

SPDR® ETFについて

SPDR ETFは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (SSgA)が提供するETF(上場投資信託)シリーズで、投資家の皆様の投資戦略に適切で柔軟な選択肢を提供します。SPDR ETF はステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニーの100%子会社であり米国の登録投資顧問会社であるSSgAファンド・マネジメントによって運用されています。ETFのパイオニアであるSSgAは、1993年に世界初のETFとなるSPDR S&P 500®を設定して以来、ETF業界の先駆者として、金、グローバル不動産、グローバル債券、およびセクターのETF等、世界市場に様々な新商品を導入してきました。詳しくはwww.spdrs.jpをご参照ください。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (SSgA)について

SSgA は、世界をリードする大手資産運用会社として、規律のとれた投資プロセス、強力なグローバル投資プラットフォーム、あらゆる主要資産クラス、投下資本レンジ、投資スタイルへのアクセスを求める世界中の洗練された投資家によって信頼されています。ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、機関投資家を対象とする世界有数の金融サービス機関であるステート・ストリートの資産運用部門です。詳細については www.ssga.com をご参照ください。

当プレスリリースに含まれる情報は有価証券の取引の勧誘を目的としたものではありません。

当ETFは、流通市場において株式と同様に取引されますが、取引価格は変動し、基準価額を下回ることがあります。また、常に取引可能であるとは限らず、市場環境が悪化している場合は、大幅なディスカウントとなる可能性があります。ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者(証券会社等)の定める売買手数料がかかります。ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券等の売買の際に発生する手数料、監査費用等があります。これらの費用は投資収益に影響します。

シニア・ローンへの投資は、信用リスクと一般的な投資リスクを伴います。信用リスクとは、シニア・ローンの借入人がその債務に対して期限通りに利払い及び/または元本返済を出来ない及び/または行わない可能性を指します。シニア・ローンの利払いや元本返済の不履行は、シニア・ローンの価値の減少を引き起こし、その結果、ポートフォリオの投資価値の減少と純資産価額 (NAV) の減少につながります。

「ジャンク債」などとも呼ばれる高利回りの確定利付き証券への投資は、投機的とみなされ、投資適格確定利付証券に投資するよりも元本や利息を失うリスクがより大きいと言えます。このような低格付け債は、発行体の信用状況の変化により、より大きな、デフォルトや価格変化のリスクを有します。

これらの投資には、現在の市場価格から大幅なディスカウントをしなければポジションの清算が困難となる場合が起こり得ます。あまり取引が活発でない証券等では大きな問題となる可能性があります。

当ETFはアクティブ運用されており、場合によってベンチマークのパフォーマンスを下回る可能性があります。当ETFへの投資は、全ての投資家に適しているわけではなく、また完全な投資プログラムを意図するものでもありません。当ETFへの投資には、投資元本に対するリターンをほとんどあるいは全く得られない可能性や投資元本の一部あるいは全てを失う可能性を含め、リスクが伴います。

アクティブ運用のETFは、ある特定の指数のパフォーマンスの複製を目指すものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

広報担当 井内 (電話: 03-4530-7104、E-mail: ainouchi@jp.statestreet.com)